

船舶事故等調査報告書

平成26年5月29日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

|             |   |
|-------------|---|
| 事故等番号       | 2014仙第10号   |
| 事故等種類       | かき養殖施設損傷  |
| 発生日時        | 平成26年2月18日 02時00分ごろ   |
| 発生場所        | 岩手県大船渡市大船渡港<br>大船渡港珊瑚島北灯台から真方位053°400m付近<br>(概位 北緯39°02.4′ 東経141°43.9′)   |
| 事故等調査の経過    | 平成26年2月20日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。<br>原因関係者から意見聴取を行った。  |
| 事実情報        |   |
| 船種船名、総トン数   | 貨物船 第八香洋丸、497トン   |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 133639、株式会社香洋海運   |
| 乗組員等に関する情報  | 船長、五級海技士（航海）  |
| 死傷者等        | なし  |
| 損傷          | 本船 なし<br>養殖施設 養殖いかだ7台、延縄式養殖施設10台及びロープが破損  |
| 事故等の経過      | 本船は、船長ほか4人が乗り組み、船首約1.3m、船尾約3.3mの喫水により、大船渡港の珊瑚島北側において、荷役待ちのために船首を北方に向け、左舷錨鎖を約4節（約100m）伸出させて単錨泊中、北西方からの強風を受けて走錨し、平成26年2月18日02時00分ごろ、大船渡市御前島西方に設置されたかき養殖施設に進入して左舷錨鎖に同施設のロープが絡まり、同施設を損傷した。<br>船長は、03時05分ごろ海上保安部に通報した。 |
| 気象・海象       | 気象：天気 晴れ、風向 北西、風速 約6m/s（最大瞬間風速約12.8m/s）、視界 良好<br>海象：潮汐 上げ潮の中央期<br>大船渡市には、本事故当時、風雪及び波浪注意報が発表されていた。   |
| その他の事項      | 本船は、17日19時30分ごろ錨泊を開始したが、守錨当直を行っておらず、22時00分ごろ、船長が昇橋したとき、異常はなかった。<br>船長は、自室で休息中、船体に当たる音を聞いて昇橋した。<br>船長は、本事故当時、大船渡市に風雪及び波浪注意報が発表されていることを知らなかった。<br>海図W1093によれば、本船の錨泊場所付近は、水深が約24.5m、底質が泥である。                         |

|  |   |
|--|---|
| <p><b>分析</b></p> <p>乗組員等の関与<br/>船体・機関等の関与<br/>気象・海象の関与<br/>判明した事項の解析</p> | <p>あり<br/>なし<br/>あり</p> <p>本船は、大船渡港で単錨泊中、守錨当直を行っていなかったことから、走錨に気付かず、かき養殖施設に進入し、左舷錨鎖に同施設のロープが絡まり、同施設を破損したものと考えられる。</p>                                  |
| <p><b>原因</b></p>   | <p>本事故は、夜間、本船が、大船渡港で単錨泊中、守錨当直を行っていなかったため、走錨に気付かず、かき養殖施設に進入し、左舷錨鎖に同施設のロープが絡んだことにより発生したものと考えられる。</p>  |
| <p><b>参考</b></p>   | <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 錨泊中は、守錨当直を行うこと。</li> <li>・ 錨泊する場合には、注意報等の気象情報を入手しておくこと。</li> </ul> |